

2024年度活動報告

1. オイコクレジット・ジャパンの現状

社員数と出資実績(2025年3月末)

社員数107名 拠出基金43,132,500円(配当金の再投資298,000円を含む)

Oikocredit 株"Participation" 2,220 (USD 444,006) , 配当金 35,837円

2. オイコクレジットへの送金については、拠出金の増加は10万円にとどまったことと、再び円安が続いたことから、結局見送ることになった。

3. 4月に2024年度の投資状況報告を各出資者に発送した。7月27日にはオイコクレジット・ジャパンの総会を行い、財務状況や1年の活動を振り返るとともに今後の活動方針を確認した。

4. Oikocreditの2024年度年次総会はコスタリカで行われ、6月6日メンバーズ会議と7日年次総会に岡本が参加した。その前に投資先としてのコーヒー産業や信用組合の現地訪問があり、Oikocreditが長年かかわってきたコーヒー組合や信用組合の成長が確認できるものであった。

5. ハチドリ電力からの寄付は円57,652(システム利用料や手数料差し引き後の手取り)となり、配当金が少ない中で貴重な収入源となっている。(支援者は2025年2月には2000人を超えている)

6. 広報活動

- ・ニュースレターは社員向けとして、4月、9月、12月に発行。
- ・Facebookでは、6回発信するも、魅力的テーマの発掘難で停滞気味となった。メンバー以外への発信の低さを脱却できなかった。

7. オンラインや対面で直接働きかける活動

- ・外部イベントへの積極的参加を位置づけ、9月28、29日東京新宿でのグローバル・フェスタ、2月8、9日大阪梅田スカイビルでのワンワールド・フェスティバルに出展。これらには事前に実行委員会をつくり、目標や掲示内容、参加者へのアプローチと説明用ファイルなどを検討して取り組んだ。また、アンケートを実施して、こちらの説明がどの程度理解されているのかの把握をし、次回のヒントにした。それぞれ延べ8人が参加。
- ・12月7日に東京御茶ノ水にてマイクロファイナンス・カフェを対面・とオンラインで開催。オイコクレジットのパートナー組織の選択において、極めて慎重かつ良心的なプロセスが踏まれていることを紹介した。また、田中顧問によるマイクロファイナンスの歴史のレビューと今日的な位置づけ、オイコクレジットの立ち位置についての見解も得た。
- ・マイクロファイナンスやSDGs、社会的投資に関連する形でオイコクレジットの存在を知ってもらう講義を二つの大学で行った。

8. ホームページの更新

一時ホームページが消滅した。ハッキングの疑いで警察の警告に従ってプロバイダーがストップしたとのこと。IT関係に詳しい会員の尽力や専門業者の助けを経て無事回復した。またホームページの更新を行った。一般社団法人化に伴って変更すべき箇所を順次更新した。財務・収支報告と活動報告を、過去5年分掲載した。また、タイムリーに情報をアップデートできるよう、タスクフォースマネジメントの方法を整備した。

以上

